

食品衛生化学研究セミナー  
「食品の微生物学的安全性および品質確保に向けて」

本セミナーでは、今後、地球の温暖化などに伴って増加すると予想される食品の危害要因について説明し、このうち食中毒細菌などの微生物学的危害を制御するための一つの技術としてのバクテリオファージとその利用と課題、ゲノム編集によるスーパーファージの構築について解説します。また、従来の方法よりも簡易かつ迅速に同定結果を得ることができるマトリックス支援レーザー脱離イオン化飛行時間型質量分析法(Matrix-assisted laser desorption/ionization -Time of Flight Mass Spectrometry : MALDI-TOF MS) が微生物同定にも利用されてきており、検査現場における課題とアプローチについても解説します。最新の技術情報を得る機会としていただけましたら幸いです。

日 時：令和6年6月15日（土曜日）13：00～15：30

場 所：JR博多シティ・9階 中会議室②

〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街1-1

<https://www.jrhakatacity.com/communicationspace/meetingroom/access.html>

参加費：無料（座席数に限りがありますので、参加ご希望の方は申込みをお願いします）

参加申込期限：令和6年6月7日（金曜日）

参加申込先：[fhc@agr.kyushu-u.ac.jp](mailto:fhc@agr.kyushu-u.ac.jp) にご連絡ください。

共催：（公社）日本食品衛生学会九州・沖縄ブロック

九州大学農学研究院食品衛生化学研究室

司会：小林 弘司（福岡女子大学）

はじめに 本城 賢一（九州大学）

13：05～14：05

食の安全確保とファージ利用の科学的基盤構築

宮本 敬久（九州大学）

休憩 10分

14：15～14：45

ゲノム編集によるバクテリオファージ特性の改変と LLB ファージの応用に関する研究

益田 時光（九州大学）

14：45～15：15

食品分野における MALDI-TOF-MS 微生物検査の活用

中山 素一（九州産業大学）

終わりに 宮本 敬久（九州大学、(公社) 日本食品衛生学会九州・沖縄ブロック長）

問合せ先：九州大学大学院農学研究院

食品衛生化学研究室

担当：本城、益田、佐藤

E-mail: [fhc@agr.kyushu-u.ac.jp](mailto:fhc@agr.kyushu-u.ac.jp)

Tel: 092-802-4757 または 092-802-4758